Listen and Speak! らくらく英検 2 級 ~ 英語ができる人になる ~

第1回 Food for Thought 日本語訳

* はじめに *

この番組は英検でおなじみの、日本英語検定協会がお送りする、すべての『英語ができる人』になりたい人たちのための番組です。これから英検2級や準2級を目指す人はもちろん、さらにその上を目指して、本当に『英語ができる人』になりたいというあなたにとって必ず役にたちますよ。後半はちょっと難しかったり、大変だったりするかもしれませんが、私、伊藤太と頼れるパートナーの Gary Scott Fine がしっかり『英語ができる人』になりたいあなたをサポートします。

はい、この番組はあなたが英検の試験で合格するのに役立つだけではなく、あなたの英語力、 特に聴く力と話す力を高めるのに役立つことでしょう。でも、この番組の本当の目的は英語そ のもの以上のものを学びとるお手伝いをすることです。

私たちはあなたが英語ができるかどうかだけではなく、あなたが英語を使って何ができるかに 興味をもっています。

The 1st program "Food for Thought"

さあ、それではレッスンを始める前に、ゲーリーと私の会話を聞いて下さい。この後のエクササイズのヒントになるかもしれないので、しっかり聞いてくださいね。

■Introduction (導入)

- F: ゲーリー、きみは5日前の夕食で何を食べたか覚えてるかい。
- G:5日前だって。夕べ食べたものだって覚えてないよ。じゃあ、フトシ、そうだな、きみは4日前の夕食で何を食べたか答えられるかい、できるなら答えてごらんよ。
- F: 魚だよ。
- G: 魚だって。 きみはもっと正確にいえないのかなぁ。
- F: ふむ。うちの庭で栽培してる生ハーブで調理した魚だよ。それとマグロも入ってる刺身だね。
- G: 本当かい。 そんなことどうして覚えてるんだい。
- F: 魚は、世界最高の食べ物だよ。特に日本の魚はね。ぼくは生ハーブを使って魚を毎日料理して

るんだ。

- G: 毎日?
- F: そうだよ。ぼくは魚を毎日料理して、一日おきにマグロの刺身を食べてるんだ。
- G: ああ、それできみは簡単に答えられるんだね。だけど、太、この質問に答えられるかい。きみが食べたマグロはどこから来たんだろう。
- F: うーん、分かんないなぁ。でも日本じゃないことは確かだよ。ああそうか、ぼくらは殆ど世界中からやってくるシーフードを食べてるんだね。
- G: そうだよ。エビはタイから、サーモンはチリから、それから mackerel は…
- F: Mackerel? ああサバね。
- G: そう、サバはノルウェーから... どうやって世界中からシーフードが日本にいるきみの夕食のテーブルに届くのか、もっと学ん でみるのも面白いね。
- F: そうだね。それは考えなくちゃいけないことだね。まさに「思考の糧」だ。
- G: オーケー、じゃあフトシ、今日のエクササイズを始めようか。
- F: そうだね。それでは…

F/G: 始めよう!

1 Exercise 1 dialogue (対話)

これから流れる男女の対話を聞いて、後の問に答えて下さい。これから流れる対話は過去の 英検に出題されたリスニング問題の一つです。実際の問題は、対話を聞いてから適当な選択肢 を選ぶ形式ですが、ここではちょっと頑張って、ゲーリーの質問に自分の言葉を使って英語で 答えるようにしてみましょう。いいですか。もう一度言いますよ。対話を聞いた後、ゲーリー の質問に自分の言葉で答えて下さいね。二次試験の面接対策にもなりますし、とても役に立ち ますよ。それでは、始めます。

対話を聞いて次の質問に答えなさい。 【2013年第1回準2級第11問】

男性: アリソン、ぼくはガールフレンドをディナーに招待したいんだけど、いいレストランを推薦してもらえるかな。

女性:もちろんいいわよ。どんな場所を探してるの。

男性:そうだな、何か他とはちょっと違うところがあればいいんだけど。ぼくは二人の食事を 特別なものにしたいんだ。

女性:3番街のダウンタウン (繁華街・商業区域) に新しくて素晴らしいイタリアンレストランがあるの。そこに行ったらどうかしら。

次の問いに自分の言葉で答えなさい。

質問:男性は女性に、何についてたずねていますか。

それでは、語彙と会話の表現について確認をしましょう。

語彙と表現を学ぼう

私の日本語を聞いて、ゲーリーに続いて英語で発音して下さい。

1. 推薦する recommend

2. ちょっと違うもの something a little different

3. 食事を特別なものにしたい I want our meal to be special.

さて、二人の会話の中で、男性は会話の相手であるもう一方の女性 Alison に "recommend" と、何かを推薦、つまり勧めて欲しいと言っていますね。その上で、 Alison から"What are you looking for?" と尋ねられると、"something a little different" と、少し違ったもの、つまり、何か普通とは違う特別なものを探しているんだと答え、その理由として、"I want our meal to be special." "our meal" ガールフレンドとの食事を、"I want our meal to be special." 特別なものにしたいんだ、と言っていますね。聞き取れましたか?

さあ、それではもう一度よく聞いて、ゲーリーの質問に英語で答えるように頑張ってみましょう。

もう一度対話を聞いて次の質問に答えなさい。

男性:アリソン、ぼくはガールフレンドをディナーに招待したいんだけど、いいレストランを推薦してもらえるかな。

女性:もちろんいいわよ。どんな場所を探してるの。

男性:そうだな、何か他とはちょっと違うところがあればいいんだけど。ぼくは二人の食事を 特別なものにしたいんだ。

女性:3番街のダウンタウン (繁華街・商業区域) に新しくて素晴らしいイタリアンレストランがあるの。そこに行ったらどうかしら。

次の問いに自分の言葉で答えなさい。

質問:男性は女性に、何についてたずねていますか。

■不完全な解答例

さあ、どうでしたか。なかなか自分で考えて答えるのは難しいかもしれませんね。それでは、 私が不完全な解答例を示しますので、どこを直したらいいか考えながら聞いて下さい。その後 すぐにゲーリーのモデルアンサーが流れますから、集中してくださいね。 次の解答例を聞いて、それを自分で直してみましょう。

The man is asking the woman about the restaurant.

■模範解答

それでは、ゲーリーのモデルアンサーを聞いて下さい。

模範解答を聞いて、大事な点を考え、自分の答えと比較して下さい。

He is asking her about a place to go for dinner with his girlfriend.

気を付けるポイントは分かりましたか。質問の言葉をそのまま使うのではなく"the man"は"he"に"the woman"は"she"というように、しっかりと代名詞を使いましょう。また、"the restaurant"と"the"をつけてしまうと、「そのレストラン」がどのレストランかが限定され、もう既に分かっていることになってしまうので"the"ではなく"a"を使って"a place to go for dinner"と、冠詞に気をつけて表現しましょう。特に代名詞や冠詞の間違いは二次試験の面接でよく減点されるところですから、特に気をつけてくださいね。

2 Exercise 2 passage (文章)

このエクササイズでは、短い文章が読まれた後にゲーリーが質問をしますので、自分の言葉で、 「誰が何をしたのか」、「それはなぜか」をしっかり答えて下さい。

英文を聞いて次の質問に答えなさい。 【2012年第2回2級第20問】

ロジャーは昨年タイに旅行しました。タイに滞在中、彼はエレファントライディング(象の試 乗)ツアーに参加しました。とても楽しかったのですが、中にはひどい扱いを受け、十分な食 事を与えられていない象もいるとガイドが話したとき、彼は驚きました。ロジャーは象を安全 で健康に保つための援助をしているある NPO について知りました。ロジャーはこの美しい動 物たちのことが心配なので、この NPO に献金をしました。

次の質問に自分の言葉で答えなさい。

質問:ロジャーについて一つ分かることは何ですか。

さあ、きちんと聞き取れましたか。それでは、少し語彙と英文の表現を確認しましょう。

語彙と表現を学ぼう

私の日本語を聞いて、ゲーリーに続いて英語で発音して下さい。

1. 観光旅行をする take a tour

2. ひどい扱いを受ける be treated badly

3. 非営利団体 NPO or Non-Profit Organization

4. 献金する donate

Roger は "take a tour" 観光旅行をしたわけですが、 "took an elephant-riding tour" は聞き取れましたか。 "be treated badly" ひどい扱いを受ける。誰が、或いは何がひどい扱いを受けているのでしょう。 "NPO" の "N P O"は それぞれ、"Non- Profit Organization" "Non-Profit Organization"の頭文字をとった略語です。 "profit" は「利益」ですから、"non-profit" 「利益を求めない」、 "organization" 「組織」「団体」という意味ですね。「国境なき医師団」などが有名ですが、NPO は "non-profit" の団体ですから、 NPO に"donate" 献金することは、NPO の社会貢献活動を助けることにつながるかもしれません。

さあ、ここからは私の日本語はぐっと少なくなりますよ。「英語ができる人」を目指して頑張りましょう。聞き取れなかったら、何度も繰り返して聞いてくださいね。

もう一度英文を聞いて次の質問に答えなさい。 【2012年第2回2級第20問】

ロジャーは昨年タイに旅行しました。タイに滞在中、彼はエレファントライディング(象の試乗)ツアーに参加しました。とても楽しかったのですが、中にはひどい扱いを受け、十分な食事を与えられていない象もいるとガイドが話したとき、彼は驚きました。ロジャーは象を安全で健康に保つための援助をしているある NPO について知りました。ロジャーはこの美しい動物たちのことが心配なので、この NPO に献金をしました。

次の質問に自分の言葉で答えなさい。

質問:ロジャーについて一つ分かることは何ですか。

■模範解答

模範解答を聞いて、自分の答えと比べて下さい。

彼は悲惨な状況に苦しむ象を助けるのに貢献したいと思ったので、象を安全で健康な状態でいられるよう援助をしている NPO に献金した。

■模範解答を使った反復とシャドーイングの練習

1) 反復練習:

ポーズの間に、ゲーリーの英語をできるだけそっくりに真似してみましょう。単語の発音だけでなく、イントネーションや雰囲気も真似して下さいね。

それぞれのポーズの間に反復して下さい。何度も練習して下さいね。そうすればあなたはきっと もっと英語が上手くなりますよ。

準備はいいですか。それでは始めます。

He donated some money to an NPO /

that helps to keep elephants safe and healthy /

because he wanted to contribute to caring for these animals /

that suffer miserable conditions. //

(上記、和訳を参照)

どうでしたか。上手に真似ができると楽しいですね。さあ、次は「英語ができる人」は必ずと 言っていいほど練習するシャドウイングにいきますよ。私が実際に少しシャドウイングのお手 本を示しますね。ゲーリーの後に続いてシャドウイング、つまり、ゲーリーの言葉の影を追う ような形で、聞きながらゲーリーの言葉を真似していきます。

2) シャドーイング練習 1 (例)

聞きながら、それぞれのパートごとにシャドーイングして下さい。

 $(G \rightarrow F)$

He donated some money to an NPO /

that helps to keep elephants safe and healthy /

because he wanted to contribute to caring for these animals /

that suffer miserable conditions. //

要領はつかめましたね。次は実際に自分で shadowing にチャレンジして下さい。shadowing は自分で speaking をするという負荷をかけながら listening をするので、筋トレと同じよう に「耳トレ」になります。必ず listening の能力が向上しますので、できるだけ何度でも繰り返して下さい。

2) シャドーイング練習 1

聞きながら、それぞれのパートごとにシャドーイングして下さい。 準備はいいですか。それでは始めます。 He donated some money to an NPO /
that helps to keep elephants safe and healthy /
because he wanted to contribute to caring for these animals /
that suffer miserable conditions. //

さあ、どうでしたか。次はもう少し長くなりますから集中してくださいね。

3) シャドーイング練習 2

今度はもっと長いパートをシャドーイングするようトライして下さい。何度も練習して下さいね。 準備はいいですか。それでは始めます。

He donated some money to an NPO that helps to keep elephants safe and healthy / because he wanted to contribute to caring for these animals that suffer miserable conditions. //

どうですか。できるようになるとすごくやりがいがあるでしょう。次は最初から最後まで一気 にシャドウイングしてみましょう。できたらとても達成感が得られますよ。頑張ってください ね。

4) シャドーイング練習 3

センテンスの全体を最初から最後までシャドーイングして下さい。何度も練習して下さいね。きっと達成感が味わえるはずです。

準備はいいですか。それでは始めます。

He donated some money to an NPO that helps to keep elephants safe and healthy because he wanted to contribute to caring for these animals that suffer miserable conditions.

達成感は得られましたか。私は今でも初めてワンセンテンスをシャドウイングできたときの喜び、うれしさを覚えています。さあ、みなさんも「英語ができる人」を目指して、Listen & Speak してみましょう。

■英文全体を使った反復練習

さあ、ここからは、ゲーリーのモデルアンサーではなく、先ほどの英文そのもののについてドリルを行います。Repetition は反復でしたね。ポーズの間にしっかり真似して下さい。 Repetition Drill が終わると、今度はすぐに Shadowing Drill に入りますから、注意してくださいね。

1) 反復練習

さあ、今度はきっと英文の反復とシャドーイングをより優しく感じるはずです。繰り返し練習して下さいね。それすればもっともっと上手くできるようになりますよ。

Roger traveled to Thailand last year. //

準備はいいですか。それでは始めます。

While he was there, /

he took an elephant-riding tour.//

He had fun but was surprised when the guide told him /

that some elephants in Thailand are treated badly /

and do not get enough food. //

Roger also learned about an NPO /

that helps to keep elephants safe and healthy. //

Roger donated some money to it /

because he is worried about these beautiful animals. //

2) シャドーイング練習 1

聞きながら、それぞれのパートごとにシャドーイングして下さい。 準備はいいですか。それでは始めます。

Roger traveled to Thailand last year. //

While he was there, /

he took an elephant-riding tour.//

He had fun but was surprised when the guide told him /

that some elephants in Thailand are treated badly /

and do not get enough food. //

Roger also learned about an NPO /

that helps to keep elephants safe and healthy. //

Roger donated some money to it /

because he is worried about these beautiful animals. //

さあ、どうでしたか。次はセンテンスの途中に区切りはありませんよ。各センテンスの間も短いですから、一気にパッセージ全体をシャドウイングできるように頑張ってくださいね。

3) シャドーイング練習 2

英文全体を最初から最後までシャドーイングして下さい。何度も練習して下さいね。これまでよりずっと難しいかもしれませんが、もしできたら達成感が味わえますよ。

準備はいいですか。それでは始めます。

Roger traveled to Thailand last year. //

While he was there, he took an elephant-riding tour.//

He had fun but was surprised when the guide told him that some elephants in Thailand are treated badly and do not get enough food. //

Roger also learned about an NPO that helps to keep elephants safe and healthy. //

Roger donated some money to it because he is worried about these beautiful animals. //

3 Challenge passage & opinion (文と意見)

さて、いよいよ最後のエクササイズ、チャレンジのコーナーです。ここからは一気に英語だけ で進めて行きますから、しっかり集中してくださいね。

次の英文を聞いて、ゲーリーの質問に答えて下さい。【2013年第1回 準2級 第23問】

2007 年の特別な催しで、タイのあるレストランがこれまでで最も高価な食事を提供しました。その食事の用意を手伝うために世界中からシェフたちがやってきました。そのディナーにはたくさんのグルメ料理が含まれていて、最高級のワインも振舞われました。客は15名いたのですが、それぞれ約3万ドルを支払いました。

さて、これからゲーリーがこの文について幾つか重要な点を挙げ、そして質問をします。その質問に答えてください。できるだけ上手く自分の意見を表現できるようにして下さい。

この文はタイのレストランにとても裕福な人たちが集まって、一回のディナーに 3 万ドルを支払ったと伝えています。 3 万ドルは約 300 万円です。私はそのお金を使えばどれだけの象に食事を与えることができるだろうかと思います。もちろん、象と人間は違いますが、それでもこれは富める者と貧しい人たちとの格差について考えさせてくれます。世界中で多くの子ども達が飢餓と貧困に苦しんでいるその一方で、裕福な人たちがグルメ料理を楽しんでいるということを心に留めて下さい。

そうした子ども達のために、あるいはそうした状況を変えるために私たちができることは何もないという人々もいます。 そのことについてあなたはどう思いますか。自分の答えを提示して下さい。

■模範解答

さあ、フトシの言うことに耳を傾けてみましょう。彼が模範解答を提示します。よく聞いて自分 の答えと比べて下さい。 私は何もできないという意見に反対です。私たちができることは何もないと言うのは正しくありません。まず第一に、個々人として、私たちは信頼できる NPO やユニセフに献金することができます。第二に、国際社会の一員として、私たちはそうした子ども達が置かれている状況について学ぶことができるし、インターネットやソーシャルネットワークを通じてより幅広くそうした情報を共有することができます。これは社会的、政治的な様相の変化につながる可能性があるでしょう。さらに、私たちはこうした好ましくない状況の改善に取り組む政策立案者(政治家)や団体を強く支援することができます。もちろん、一度にすべての子ども達を救うことはとても困難ですが、しかし、この問題に関して何らかの段階的でも着実な改善を図るために一歩踏み出すことは可能です。 だから、私たちができることはたくさんあるのです。

どうでしたか。フトシの言ったことは聞き取れましたか。彼の主張の要点は分かりましたか。オーケー、それでは、彼がたった今言ったことを説明しますから、よく聞いてください。

はい、まず私は、"Some people say that there is nothing we can do for those children or to change the situation. What do you think about that?" 「私たちにはこうした子どもたちのためにできることは何もないし、状況を変えることもできないと言う人たちもいるけれど、あなたはどう思いますか」というゲーリーの質問を聞いて、"I disagree." 「いやそんなことはない」つまり、「何もできないという意見には"disagree" 賛成できない」と答えました。これが私の主張です。これを踏まえて、"Firstly" "Secondly" "Moreover" というつなぎ言葉を使いながら、主張の根拠を大きく3つ提示しましたね。そして、"Of course, it is very hard to save all the children at once, but it is possible to start to make some gradual but stable improvements on this issue." 「もちろん、すべてを、一度に」は very hard だけれども but 「"start/gradual/improvements" 改善を徐々に始めること」は possible だとまとめた上で、"That's why" 「だから」 "there is much we can do." と最後に主張をはっきりと言い直しています。

さあ、フトシの話をもう一度聞いてみましょう。よく注意して聞き、彼の意見とその組み立てに 注目して下さい。

私は何もできないという意見に反対です。私たちができることは何もないと言うのは正しくありません。まず第一に、個々人として、私たちは信頼できる NPO やユニセフに献金することができます。第二に、国際社会の一員として、私たちはそうした子ども達が置かれている状況について学ぶことができるし、インターネットやソーシャルネットワークを通じてより幅広くそうした情報を共有することができます。これは社会的、政治的な様相の変化につながる可能性があるでしょう。さらに、私たちはこうした好ましくない状況の改善に取り組む政策立案者(政治家)や団体を強く支援することができます。もちろん、一度にすべての子ども達を救うことはとても困難ですが、しかし、この問題に関して何らかの段階的でも着実な改善を図るために一歩踏み出すことは可能です。 だから、私たちができることはたくさんあるのです。

■結びの対話

G: フトシ、きみの模範解答はよく組み立てられていてとても分かりやすかったよ。秘訣は何だい。 どんなふうにやったの。

F: DHA だよ。

G: DHA だって?

- F: ああ、魚に含まれている DHA がぼくの脳を活性化してくれるんだ。だから、4 日前に食べた ものも覚えてるんだよ。
- **G**: 冗談だろう。分かったよ、フトシ、それできみが意見を組み立てるためのレシピは何かを教えてくれないか。
- F: 「組み立て」、「視点」、「極端な表現の回避」が最も重要なキイポイントなんだ。まず、ぼくは「サンドイッチ構造」という組み立て方を使ったんだけど、これは最初に1番言いたいことを提示して、次にその根拠や理由、そして最後に最初と同じ1番言いたいことを提示するんだ。
- G: なるほど、きみは最初に提示した1番言いたいことと、最後に繰り返した1番言いたいことで 根拠と理由をサンドイッチのように挟んだんだね。オーケー、じゃあ「視点」と「極端な表現 の回避」というのは何だい。
- F: 今のところは、「視点」と「極端な表現の回避」の説明は回避しておこう。後に説明した方が リスナーのみんなにとってベターかもしれないしね。

さあ、今回のレッスンはどうでしたか。後半は少し難しかったかもしれませんね。何度も聞き直して、自分でも話せるように練習してみてください。Repetition や Shadowing だけでなく、話す内容の構成を組み立てること、そして相手に伝えること、こうしたトレーニングを続ければ、あなたも必ず「英語ができる人」になります。ところで今回、第1回目のタイトルが"Food for Thought"だったのを覚えていますか。"food for thought"というのはよく使われる表現で、実は"something to be considered"「何か考えるべきこと」「考える材料」という意味があるんです。ちょっと気になった人は辞書で調べて、今回のプログラムをもう一回聞いてみるのもいいかもしれません。

それでは...

また次回お会いしましょう!